

まちあるき

GUIDE | ふるさと
BOOK | 再発見!



昭和地区とは？

昭和地区は昭和27年に日美、富山、水内、下倉の4つの村が合併して誕生し、昭和47年に総社市に併合されました。大変自然に恵まれており、古くから人々の生活の場所が形成されていました。そのため昭和地区には古くから伝わる伝説や遺跡、文献、石碑などが多く存在しており見どころや発見の多い魅力的な場所です。有名なものでいうと高梁川の大虬（ミヅチ）の伝承や日羽のケンギョウ田遺跡などがあります。

実際に昭和地区を歩いてみると、1日では見回ることのできない多くの見どころがあり、探訪のなかで新たな発見に出会うこともあるでしょう。探訪の際、このマップを手に取り実際に訪れてみようと思うきっかけや、こんな場所があったのだという発見、さらに探訪のなかでの新たな人との出会いなどを通して、昭和地区を再発見していただければ幸いです。



豊かな自然の中に“備中”の歴史的な名所が散らばる街



水内八幡神社の竹やぶ



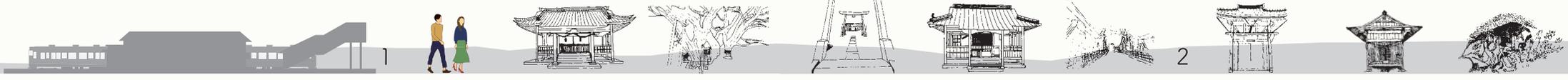
水内八幡神社の森

京都石清水八幡宮の別宮。平成元年3月に岡山県郷土記念物に指定。シイノキ群生地として貴重な存在である。

孟宗筍栽培元祖の碑



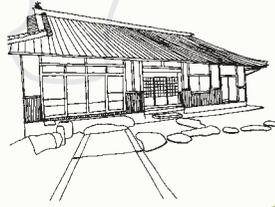
今から150年ほど前に箭田、境の妹尾嘉吉という人物が、下倉から孟宗竹を3本ほど持ち帰った事が、真備町箭田のタケノコの起源であると言われている。



昭和地区 全域MAP

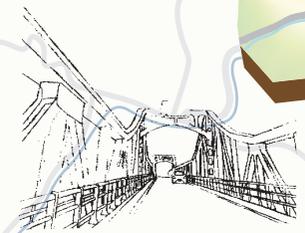
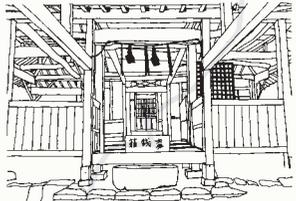
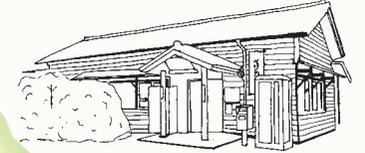
富山地域

- ① 昭和公民館富山分館
- ② 魔法神社
- ③ 富山小学校跡
- ④ 延原御崎神社
- ⑤ 旧富山村役場
- ⑥ 東光寺



日美地域 (美袋・日羽)

- ① 美袋駅
- ② 美袋八幡神社
- ③ 美袋本陣跡
- ④ 栄福寺
- ⑤ 板口富美子
- ⑥ 板口富美子の歌碑と記念碑
- ⑦ 作原椋の古木
- ⑧ ミツチ神社
- ⑨ ケンギョウ田遺跡
- ⑩ 安楽寺跡
- ⑪ 松山往来
- ⑫ 日羽大塚古墳



水内地域

- ① 水内橋
- ② 水内河原
- ③ 塩掛けの滝
- ④ 華蔵院
- ⑤ 長御崎神社
- ⑥ 猿尾

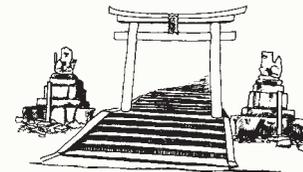


3

下倉地域

下倉地域

- ① 下倉橋
- ② 草田八幡神社
- ③ 天地神社
- ④ 下村経塚
- ⑤ 林松寺
- ⑥ 海軍の秘密地下工場跡
- ⑦ つきおおはし



4



① 美袋駅

大正14年、伯備線開通時に開業し、平成26年に有形文化財に指定された。駅舎の中には総社吉備路商工会昭和支所の事務所があり、外にはギョイコウが植えられている。木造平屋の駅舎で木の壁や屋根などは1925年に建てられた当時の姿がそのままの形で残っている。



美袋駅舎は登録有形文化財に指定されているんだよ！



② 美袋八幡神社

1521~1528年の間に建てられたと言われているが定かではない。1808年には美袋の大火で焼失してしまい、縁起物などが全て焼失してしまったが1830年に再建された。現在、境内にはラカンマキが植えられている。



③ 美袋本陣跡

江戸時代、大名の宿場町として栄えた本陣は、そこで会談などが行われた。明治維新から戦後までは役場として、現在はJA 晴れの国岡山昭和支店の事務所や店舗などに使われている。JAの隣にある標柱は、当時のままの形で残っている。



④ 栄福寺

真言宗国分寺の末寺。経済難により1873年に寺の中の台所部分を校舎にして、寺子屋を営んでいた。後の日美一昭和小学校の前身の場所でもある。お寺の中には大正の頃に“鼻ぐり塚”が建てられ、周辺では牛供養が行われていた。

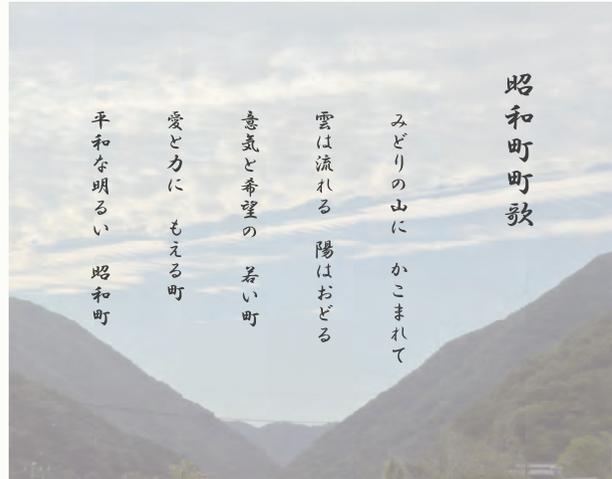
他にも！

広畑遺跡…昭和中学校の敷地内にある遺跡。鉄器や魚網の重りのほか、役所の角柱、集落の円柱なども確認されており、当時の生活がうかがえる。



⑤ 板口富美子

大正4年に総社市美袋に生まれ、東京女高師（現：お茶の水女子大学）で和歌を専攻、その後教師と和歌の道へ進んだ。維新・昭和小学校、昭和中学校、昭和町町歌を作詞。美袋の秋葉谷国道筋には歌碑が設置されている。



⑥ 板口富美子の歌碑と記念碑

記念碑には戦前の文化が書かれているとされているが、不鮮明で読むことはできない。歌碑と記念碑が立つ場所の岩は“獅子岩”と呼ばれており、ちょうど獅子がうずくまっている姿に見えたことからその名前がついたとされる。



⑦ 作原棕の古木

昭和32年に南の枝が倒れて目通りが空洞になるまでは、周囲9.5mもある、群中第一の巨木と紹介されている。現在は全体的に小さくなってしまったが、樹齢が約600～700年とされており昭和41年4月15日付で昭和町が天然記念物に指定した。



樹齢 500 年、総社市指定天然記念物。

⑧ ミヅチ神社

ミヅチ神社と呼ばれていた神社の跡地に国司神社が建てられている。ミヅチ神社はミヅチの霊を祀る社で、古宮という場所にあった。ミヅチ神社と呼ばれるようになった由来は、「日本書紀」にいう高梁川のミヅチの伝承とされている。高梁川は暴れ川と呼ばれており、当時の人は高梁川を神格化させミヅチに見立てていた。



⑨ ケンギョウ田遺跡

岡山県下でも数少ない山間の縄文遺跡で、荘園時代の荘官だった検校(年貢を納めるための代官)の給田であったことが由来とされている。この遺跡からは、木の実、鏃、おもしろ、手斧、土器など様々な種類の埋葬品が出土している。



縄文時代の遺跡は、総社市内でもとても貴重!



⑩ 安楽寺跡

1256年に建立。当時は宝福寺の隠居寺として創建され、薬師如来が祀られている。明治時代以降は檀家が数軒ほどになり急速に荒廃、無住職となってしまった。明治13～23年頃には日羽小学校、日美小学校、日羽支校の校舎として利用されていた。



⑪ 松山往来

本町の中央部を西北から東南に流れる高梁川の北岸沿いに通じる松山往来は、明治以降一般に高梁往来と呼ばれ、さらに明治9年道路規則の発令により、県道岡山一新見線となった。山陽一山陰を結ぶ主要道路として、交通量の増加に伴いしばしば改修工事が行われた。



⑫ 日羽大塚古墳

日羽にある古墳群の中で最も大きな円墳。中の石室は開かれており、自由に入出することができる。今日まで盗掘をまぬがれたこの古墳からは土器、鉄の直刀など多くの副葬品が出土しており、それらは現在倉敷にある埋蔵文化センターで保管されている。



富山地域

TOMIYAMA AREA

全域MAP



① 昭和公民館 富山分館

GEOパワーシステム（ジオバイラルシステム）地熱利用の換気システムを設置した公民館。その恩恵として、真冬でも水道が凍らなくなった。
中には24人が入る集会場、12畳の講座室、料理講習室がある。



② 魔法神社

狸が疫病を払ったことから神格化され創建されたのではないかとされている神社。書物によるとその狸は天竺から来たと言われている。魔法という名前の由来は摩利支天法といった武士の護身術から来ているとされており、参拝する際に本気で拝むと願いを叶えてもらえるという。



③ 富山小学校跡

明治23年に宇山と延原小学校が合併したことにより、富山小学校となった。現在は昭和小学校に合併した関係で廃校となり、コミュニティ広場として活用されている。周辺には集落の中心であった役場が当時の姿のまま残ってる。



④ 延原御前神社

873年に勧請された吉備武彦命を祭神として祀ってある神社。“御前”とは信仰の広がりを見せていると言われている。
神社の樹林は鳥居から参道、境内にかけて大小約60本のアカガシが林立し、そのほかタブノキなどの常緑樹が多く、昭和61年に郷土記念物に指定された。



⑤ 旧富山村役場

富山村当時の役場。昭和地区で唯一現存する庁舎である。

富山村とは…
種井・延原・宇山・橋が合併してできた村。



⑥ 東光寺

周辺に檀家がなかったために廃寺となり、現在は薬師堂を建立しそこに伝来の仏像三昧と仏具を保管している。
保存されている薬師如来像、木造毘沙門天像、阿弥陀如来立像とそれを安置した厨子は文化財的に非常に価値が高いもので、木造の毘沙門天像に至っては、欠けている右手があった場合、国宝に匹敵するものだとされている。



水内地域
MINOCHI AREA
全域 MAP



① 水内橋

昭和5年に最初の橋が建設され、昭和9年の洪水により崩壊、昭和13年に新しい橋ができた。当初の橋の写真は昭和公民館に保管されている。現在の水内橋は築80年経っており、すでに寿命の60年を超えているが、最古参の橋であるため保存される形となった。



② 水内河原

昔から集いの場として使用されてきた河原。春の園芸祭、夏の納涼祭(盆踊り、花見)などさまざまな催しが開催されている。近年ではグラウンドゴルフを始めとしたアウトドアなどレジャー目的でも利用されている。

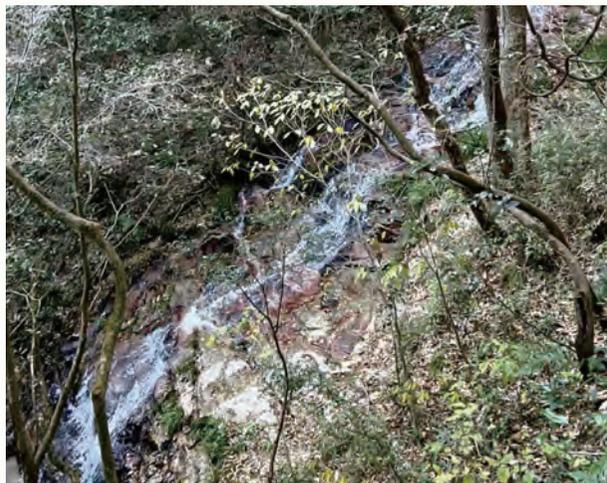


春には桜の美しい
憩いの広場になる!



③ 塩掛けの滝

総社市中尾の滝山川にあり、約20mの高さから緩やかに流れ落ちる綺麗な滝。滝の流れる部分の地面が赤い理由は、赤迫、銅や鉄が酸化してしまったためと言われている。一説では、塩掛けの“塩”は“潮”であり、かつてはこの辺りまで海辺だったのではないかとも言われている。



④ 華蔵院

岡山県下唯一の臨済宗、天龍寺派の末寺。境内に高先和尚の墓石(無縫塔)があり、墓石には通常戒名が刻まれるのだが、この墓石は俗名で刻まれているため珍しいとされている。無縫塔は昭和46年5月に指定文化財になった。また、至宝である九条の袈裟が所蔵されている。

！近くの道脇に下馬石がある！



下馬とは…城や寺社の門前で敬意を表すため、乗っている馬を降りなければならないこと。



⑤ 良御崎神社

うしとらおんざき

たちわはいどうら

本社の創立年代は不詳、境内には立石灰俵、つぎ岬霊神、村岬霊神と刻まれている石碑がある。この集落には立石灰俵の伝説があったとされる。本堂の下には消防目的で作られた手押しポンプが残っている。



⑥ さろう猿尾

河川の治水のために築かれた堤防を猿尾とよび、この猿尾が高瀬舟の船着場になっていることも多かった。猿尾は本来、災害時の川除として築かれた。「出し堤」で、水勢を弱めるためのものであり、突先が川下に向いている構造が猿の尻尾に似ていることがその由来である。現在昭和地区には洪水防止と堤防の破壊防止のために築かれた猿尾が2基残っている。



下倉地域
SHITAGURA AREA
全域MAP



下倉地域



タブノキが珍しい！



⑤ 林松寺

真言宗、京都仁和寺の末寺。明治新四国八十八ヶ所の霊場一番札所。周辺の桜が見事。下倉の小学校の前身となった。
宮殿・庫裏は1855年に竣工したとされており、これらの建築物は昭和町内の寺院中第一等の大きさを誇り、本堂外面欄間の松竹梅や十二支、邪鬼などの彫刻は見事である。



橋が架けられる以前は渡し船があった！

⑦ つきおおはし

つきおおはしの“はし”が“ばし”ではないのは、濁点をつけることによって大雨や濁るという意味合いでつけられなかったのではないかとされている。



④ 下村経塚

南北朝時代の末ごろ、軍資金を埋蔵し、その発覚を恐れて山中にお経を埋めた。もし掘り出しに行こうとすると大変なことが起こるとされている。
その大変なこととは事故があるときに、ゴロゴロと山が鳴るという伝説によるものではないかとされている。現在では総社市指定史跡文化財になっており、石囲いの輪郭が残っている。



⑥ 海軍の秘密地下工場跡

戦争の爪痕が残る工場跡。塩田付近には10~14ヶ所あったとされるが、現存しているのは一ヶ所しかない。地域住民や学童が総動員され多い時で250人も人が参加したという。

① 下倉橋

最初の下倉橋は昭和20年5月に架けられ、橋脚はコンクリート、橋は木造で造られていた。しかし昭和20年9月の大水でこの橋は流失。大水で橋が流失する間に、海軍がこの橋を使い下倉に地下工場の構築に係っていた。以降下倉橋は昭和28年の架橋を経て、平成4年に現在の下倉橋の場所に架けられた。

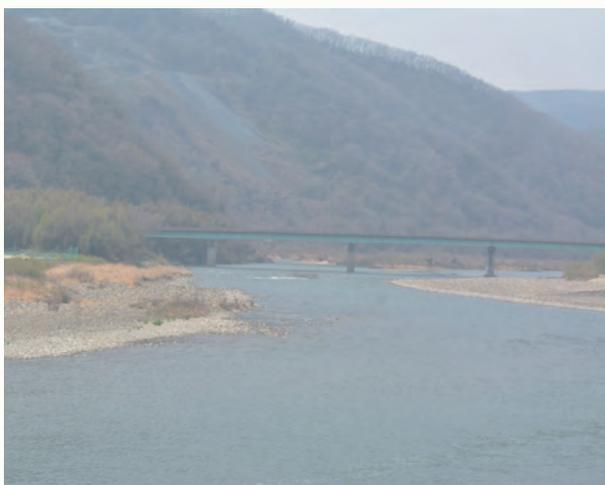
② 草田八幡神社

草田の大火が起こった際、神職の家も類焼し、保管中の縁起書など古文書が焼失してまい、その後元禄7年に現在の地に移転した。境内にはスギ、マツ、カカシ、モミ、カエデ、クロキなど周囲2~4mの巨木が樹立しており、周囲5m、高さ33m、推定樹齢350年ほどのモミの巨木があったが、現在は切り株が残っている。



③ 天地神社

無水手水鉢がある神社。昔の人の言い伝えによると天地の神が祀ってある、日本国内に3つしかない神社の一つとされており、眼病に効果があるとされている。
ある日境内の神木を切ったところ、水鉢にヒビが入っていないにも関わらず、水がなくなってしまった。このことは神木を切ったことのパチではないかとされている。



草田八幡神社の社叢は総社市指定天然記念物！





稲穂と特急「やくも」



復興の館「みなぎの里 大國屋」



草田八幡神社



編集後記

このマップはふるさと探訪ウォーキングしたものを中心にまとめたものです。マップを手に出かけてみませんか。新しい発見、感動したりする事があるでしょう。みんなでふるさと昭和の素晴らしさ、魅力を探しましょう。
関口 昇（資料提供者）

この度、この小冊子を発行するに当たり、ご協力頂いた岡山県立大学の畠先生、学生の皆さんにお礼を申し上げます。この小冊子が今後、昭和地区の活性化につながる事を願っております。

堀 公典（地域活性化部会長）

この度、岡山県立大学畠研究室の皆様のご協力をいただき、昭和地区の史跡をふるさと探訪と称し、巡った所の一部を冊子にまとめました。地域の皆様に昭和の良さを再発見していただき、次の世代につなげて行ければ幸いです。
浅沼 弘（昭和地区社協会長）

昭和地区の方々を訪れた全ての人にこのマップを紹介して、これから長きに渡って昭和地区の良さを実感していただくことを目標にマップ作りを進めてきました。私たちが感じとった昭和地区の良さを是非このマップを手にとった人にも感じてもらえれば幸いです。

洲脇 悠人

たくさんの方のご協力により、このまち歩きMAPを完成させることができました。これを手を持ってまち歩きを楽しんでもらえると幸いです。

馬野 菜由

初めて昭和町に関する歴史書を読んだ時、理解できないことがとても多かったのですが、実際に町を歩き、名所を見て回ることで「この文章はこういうことだったのか！」という発見とともに歴史の面白さに触れるいい経験をすることが出来ました。

濱野 颯良

本誌は以下の方々のご協力で制作されました

- ▶ 昭和地区社会福祉協議会 地域活性化部会 堀公典、高上忠義、若原美津子、赤木伸子、安田聖子、坂川敏子、森清子、大住ひとみ、河原史恵、中倉智恵美、本安真弓、野瀬清子、永下容子
- ▶ 岡山県立大学 畠研究室 洲脇悠人、馬野菜由、濱野颯良、畠和宏

まちあるき

GUIDE | ふるさと
BOOK | 再発見！



発行日 令和4年5月31日

発行 昭和地区社会福祉協議会

編集 岡山県立大学 畠研究室
